

第219号

平成24年 9月10日

病院だより



感染防止対策室を開設いたしました

Hideo Iida

飯田 秀夫

心臓病について

Kei Hatori

羽鳥 慶

4 A病棟のご紹介

Keiko Okamura

村岡 敬子

国際親善総合病院

URL <http://shinzen.jp>

〒245-0006 横浜市泉区西が岡 1-28-1
TEL 045 (813) 0221 (代表)
FAX 045 (813) 7419 (総務課)

国際親善総合病院看護部
モバイルサイト



感染防止対策室を開設いたしました。

感染症には結核、H1N1インフルエンザ（豚インフルエンザ）、多剤耐性緑膿菌感染症による感染症などがあり、最近では2012年8月北海道の高齢者施設などで「白菜の浅漬け」による腸管出血性大腸菌 O157 感染が起きて約100名が症状を訴え、そのうち3名が死亡した食中毒事件は記憶に新しいものと思います。

本院では今まで感染症を蔓延させないため、感染制御の専門知識を有するエキスパートとして、ICD（インфекションコントロールドクター・感染制御医師）、感染症看護専門看護師、感染制御専門薬剤師を中心に活動を行い、院内感染の制御、耐性菌の状態把握、H1N1インフルエンザに対し発熱外来設置対応などを行ってきました。

本年度さらに組織的に感染制御を行うため、感染防止対策室を設置いたしました。

感染防止対策室の仕事は主に下記3項目が挙げられます。

1. 院内感染を防止すること

- (1) 病院感染対策の実態調査
- (2) 対策の評価・見直し
- (3) 職員へ教育・啓発
- (4) 病院感染症多発時の対応

2. 横浜市泉区を中心とする西部地域感染症の把握すること

近隣病院と連携し、感染症の把握を行います。

3. 西部地域に感染症が散見されても感染症を広げないように制御すること

対策の実施・評価・見直しを行います。

問題になる感染症が横浜西部地区に発生した場合、地域住民の方々に感染症の状態及び、感染症を広げない方法について説明してまいりますので、よろしくお願いいたします。

感染防止対策室室長
感染防止対策室副室長

飯田 秀夫（副院長、ICD）
酒井 政司（感染制御委員長）
中村 麻子（感染症看護専門看護師）

心臓病について

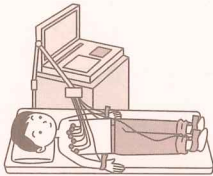
心臓病は脳卒中やがんと並び、成人の3大死因と言われております。心臓病に対する診断や治療は著しく進歩しています。拡張型心筋症という心臓病を例にとると、10年間元気で過ごされる患者さんの割合が以前に比べて倍にもなっています。一方で、食事の欧米化などもあって心臓病で亡くなられる患者さんは年々増加しています。これは心臓病にかかられる患者さんが、昔に比べて増えてきているということを示しています。



早期の発見を

心臓病と聞くと怖いイメージがあるかも知れませんが、軽い異常の段階を放置することで、いつの間にか重大な異常に進展していることも珍しくありません。重症の心臓病の場合は緊急で対処すべき場面も多くあるのですが、軽症の段階で早期発見・早期治療することによって未然に危険な状況を防ぐことが可能です。

心臓病は息切れや胸痛、動悸といった胸の症状で初めて分かることも多いですが、胸以外の症状や、あるいは症状が全くないまま心臓病にかかっていることも珍しくありません。検診での心電図の異常がきっかけで心臓病の発見に至る患者さんも多く見受けられます。現在、検査は多くの機器が開発され、昔に比べてより負担の少ない方法で心臓病のチェックが可能となりました。治療においても、技術や道具の進歩によって昔に比べて体への負担がより少なくなりつつあります。



今回は、心臓病全般及び検査や治療についてお話をしてまいります。多くの方が早期のうちに心臓のチェックを受けられるようお手伝いできれば幸いです。

循環器内科医長 羽鳥 慶

このテーマは

平成24年10月12日(金) 15:00から約1時間

の健康懇話会にて講演予定です。

(入場無料、予約不要、どなたでもご自由にご参加ください。)

4A病棟のご紹介

4A病棟は、内科病棟で主に消化器内科・腎臓内科・神経内科の患者さんが入院されています。当病棟での治療や検査は、消化器系内視鏡検査、血液透析、腹膜透析などが多く、脳血管疾患や神経疾患の患者さんも入院しております。また、内科以外の方も入院されますので、専門性にとらわれず、幅広い知識の習得が必要となり、スタッフ間で情報共有をしながら取り組んでいます。

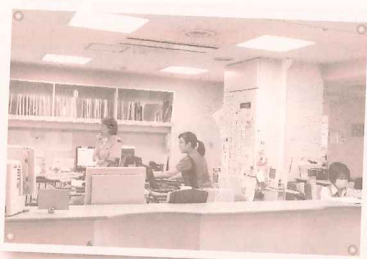
特に透析患者さんの治療は、食事療法から水分・シャント管理まで日頃の管理が重要ですので、血液浄化・透析センターと連携を図りながら、導入から維持透析までケアをさせていただいております。

また当病棟のスタッフは、ご高齢の患者さんも安心して療養ができるよう、親身になって看護をすることに心がけております。さらに、入院時から退院後に向けての準備も、担当医師や看護師を始め医療福祉相談室・地域医

療連携室・リハビリテーション科など専門分野のスタッフと一緒に、慢性疾患を持ちながらもその人らしく生活できるよう、お一人おひとりに合ったケア計画を一緒に考えていきたいと思っております。その際には、ご家族のご理解やご協力も重要で、社会資源の活用に関する情報などもタイムリーにお伝えしていきたいと考えております。

今後も皆さまに信頼と安心をいただけるよう、4A病棟スタッフ一同看護に取り組んでまいります。

4A病棟課長 村岡 敬子



4A病棟